

## 情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] A総合病院における入院時支援の地域連携の実態調査

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 荻野和功

[研究責任者] 小泉みさ子 (看護部・看護師)

[研究の概要]

■ 目的・方法 (研究期間も含む)

研究期間：実施承認後～2022年9月30日

目的：地域包括ケアシステムの推進において、入院決定時から退院困難な要因を有する患者さんを抽出し、患者さんが利用する医療・介護・福祉施設と連携（以下、地域連携）することは、入院前からの退院・在宅復帰支援につながります。A総合病院外来の「入院時支援」では、「入退院支援スクリーニング」テンプレートで退院支援の必要があるかを評価し、患者さんの状況に合わせた介護・福祉サービスの情報提供や関連部署と連携し退院支援へ繋げています。

今回、A総合病院の「入院時支援」の現状と、外来部門の看護師が捉えた「入院時支援」の課題を明らかにし、「入院時支援」の質改善の取り組みを推進する改善策を検討します。

方法：診療録を用いた後ろ向き観察研究

■ 対象となる患者さん

2021年12月～2022年2月に当院外来で入院時支援を受けた方

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：性別、年齢、入退院支援スクリーニングの記録（退院困難な要因13項目の有無、退院支援の要否）、入院サポートの記録（地域連携の実施の有無）、地域連携に関する記録等

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

小泉みさ子、看護部 (看護相談室)

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971